学校番号	122

平成31年度　　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	3年次
使用教科書	「高等学校 改訂版 政治･経済」（第一学習社）						
副教材等	テーマ別資料　政治・経済 2019　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の政治や経済の基本的なしくみを学習します。入試問題などを題材に，応用力もつけるように発展した学習もします。また，現実の社会でどのようなことがおこっていて，我々はどうそれと関わって行くべきか。実際のニュースについても取り上げます。
日々の授業に積極的に取り組むと同時に，新聞，テレビ，インターネットなどで時事問題に常に関心を持つように心がけて下さい。また，与えられた課題については，しっかりと取り組んで下さい。

２　学習の到達目標

・広い視野に立って，民主主義の本質に関する理解を深める。
・日本国憲法の基本原理，日本の政治機構などについて理解し，現代の政治の諸課題について考察する。
・現代経済のしくみについて，客観的に理解するとともに，現実の経済の動向，課題について考察する。
・現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに，公正な判断力を養い，主権者として必要な能力と態度を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治，経済，国際関係などにかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究しようとする。 社会的事象を総合的に理解し考察しようとする態度を身につけている。 平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加，協力する態度を身に付け，人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	現代の政治，経済，国際関係にかかわる事柄から課題を見いだし，社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察している。 社会の変化や様々な立場，考え方があることを理解した上で公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治，経済，国際関係にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアから収集し，有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	現代の政治，経済，社会，国際関係にかかわる基本的な事柄や課題についてを理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期考査 レポート課題 討論・発表 学習の振り返り	定期考査 レポート課題 資料集の読みとり	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	民主政治の基本原理	・政治と法の機能 ・人権保障と法の支配 ・議会制民主主義と世界の政治体制	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ 	○ ○ ○	a:民主主義の歴史や基本的原理に関して、世界史学習と関連づけながら深い興味を抱いている。 b:・西洋で発達した民主主義の原理と、日本の政治機構の仕組みとの関連を考察している。 ・主要国の政治制度と日本の政治制度とを、比較しながら考察している。 c:会契約説や権力分立といった民主主義の原理について、ロックやルソーといった思想家たちの原典資料にもどりその内容を確認している。 d:・社会契約説や権力分立、主要国の政治制度などに関して正しい知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	日本国憲法の基本原理	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と自衛隊 ・基本的人権の保障と新しい人権	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:・日本国憲法の成立過程や国民主権、基本的人権の尊重、平和主義といった基本原則に対して興味・関心を抱いている。 ・現実の人権問題に対して関心を示し、日本が抱える課題に対して追究する態度を示している。 b:人権保障の憲法の条規と、現実の社会における課題との関連を考察し、社会の望ましい在り方を判断している。 c:・日本国憲法の成立や人権保障に関する情報を、様々な手段を使い収集している。 ・人権問題に関して収集した資料を、自ら設定した課題解決のために主体的に選択し、活用している。 d:・日本国憲法の成立過程について、史実と関連させて適切に理解している。 ・人権保障に関連する日本国憲法の基本的条規について、正しい理解を示している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	日本の政治機構	・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政 ・裁判所の機能と司法制度	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:・国会，内閣，裁判所，地方自治体について，そのしくみや機能に関心が高まっている。 ・日本の政治に関する時事問題に関心をもち，問題や課題を意欲的に追究しようとしている。 b:・憲法条規上の国会、内閣、裁判所や地方自治の規定と、現実の三権の状況や中央と地方との関連などを的確に比較し考察している。 c:・国会、内閣、裁判所や地方自治に関する情報を新聞などのメディアを通じて収集し、学習のために主体的に選択している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

		・地方自治制度と住民の権利	○	○	○	○	d:・国会，内閣，裁判所，地方自治体について，そのしくみと相互の関連を憲法に沿って理解している。 ・日本の政治機構に関する基本原則について理解している。	

	現代政治の特質と課題	・政党政治と選挙制度 ・民主政治における世論の役割	○ ○	○ ○	○	○ ○	a:・選挙制度や一票の格差などについて関心が高まっている。 ・望ましい政治のあり方や国民の政治参加について積極的に考察しようとしている。 b:現代政治の課題について，多面的・多角的に考察し，あるべき政治参加について自分の考えを表現している。 c:・日本の政党政治や選挙制度，世論や政治参加などに関する課題について，さまざまなメディアを利用して資料を収集している。 d:・政党政治や選挙制度，政治参加などについて基本的な知識を身に付けている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
	現代の国際政治	・国際社会と国際法 ・国際連合の組織と役割 ・国際政治の動向 ・国際紛争と難民問題 ・軍備管理と軍縮 ・日本の外交と国際平和への役割	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:・現代の国際政治の動向について関心をもち，その背景を意欲的に考察しようとしている。 ・安全保障についての考え方や、国家間の対立、民族紛争といった国際紛争の諸要因を意欲的に探究している。 b:・国際社会におけるさまざまな課題について多面的・多角的に考察している。・これからの国際社会における日本の役割について自分の考えを適切に表現している。 c:・現代の国際社会における政治の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。 d:・戦争や国際紛争を防ぐ国際機構や国際法が構築された経緯を理解し，そのしくみや課題についての知識を習得している。 ・核問題や難民，地球環境問題，資源・エネルギー問題など現実の国際政治の問題について理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査

2学期	現代経済のしくみ	・経済社会の発展	○	○		○	a:・市場機構や景気変動、金融・財政といった経済の諸理論に対して関心を深め、理論との関連を踏まえながら現実の経済活動を探究する意欲的な態度が見られる。 ・経済の理論と現在の経済の動向との関連について意欲的に追究しようとしている。 b:・家計、企業、政府の経済主体間の経済循環を、現実の経済活動と対応させながら考察している。 ・金融や財政についての基本的知識をもとに、現実の金融・財政問題やその解決方法について、多面的に考察し，適切に表現している。 c:・国富やＧＤＰ、金融や財政などに関する統計資料を、各種白書などを利用して的確に収集している。 ・収集した資料の中から、景気変動や金融・財政政策などの学習に必要な情報を主体的に選択して活用している。 d:・経済の循環や国民経済を構成する基本的な知識を身に付け，市場メカニズムがもつ効率的な資源配分のしくみや，金融，財政の基本的な役割ついて理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		・経済主体と経済活動	○	○		○		
		・市場経済の機能と限界	○	○	○	○		
		・経済成長と景気変動	○	○	○	○		
		・物価の動き	○	○	○	○		
		・金融のしくみとはたらき	○	○	○	○		
		・財政のしくみとはたらき	○	○	○	○		
		・日本経済のあゆみ	○	○		○		
		・中小企業の地位と役割	○	○	○	○		
		・農業の現状と課題	○	○	○	○		
	福祉社会と日本経済の課題	消費者問題	○	○	○	○	a:・公害・環境問題や消費者問題，農業・食料問題，中小企業，雇用・労働問題，少子高齢化や社会保障の問題などについて関心が高まっている b:・日本経済が抱えるさまざまな課題について多面的・多角的に考察している。 ・労働社会保障について，課題とあるべき姿について適切に表現している。 c:・公害や労働問題、社会保障といった様々な課題に関するデータを白書類から収集し、課題解決の手段として活用している。 d:・公害、労働問題や社会保障といった日本経済の現状と課題に関して十分な知識を有するとともに、課題を解決する様々な方法に対して理解を示している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		高度情報化社会の進展と課題	○	○		○		
		労働問題	○	○	○	○		
		社会保障制度の充実	○	○	○	○		
		環境保全と資源・エネルギー問題	○	○	○	○		

	国民経済と国際経済	国際経済のしくみ	○	○		○	a:・為替や国際収支など国際経済の理論について関心が高まっている。 ・グローバル化が進む国際経済において，その動向や日本の役割について意欲的に追究しようとしている。 b:・現代の国際経済の動向から、課題を見いだしている。 ・経済のグローバル化の動きに対して、商品や労働力、資金の移動などから多面的・多角的に考察するとともに、競争原理を前提としたグローバル化の弊害についても的確な判断を示している。 c:・現代の国際経済の動向に関する諸資料を、様々なメディアを通して収集している。 ・収集した資料から、国際経済の特質、日本の果たすべき役割などについての情報を主体的に選択して活用している。 d:・貿易や国際収支のしくみについて知識を身に付け，赤字や黒字の意味するところを理解している。 ・戦後の国際経済の動向やグローバル化，地域統合などの動向を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		国際協調と国際経済機関の役割	○	○	○	○		
		地域的経済統合	○	○	○	○		
		グローバル化する経済	○	○	○	○		
		南北問題と日本の役割	○	○	○	○		
3学期	現代社会の諸課題	現代日本の政治や経済の諸課題	○	○	○	○	a:・現代日本や国際社会の諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、望ましい解決の在り方を客観的に考察しようとしている。 b:・現代日本や国際社会の諸課題を多面的・多角的に考察し、望ましい解決の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえて公正に判断している。 c:・現代日本や国際社会の諸課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択し活用している。 d:・現代社会の諸課題を理解する上で基本となる事項についての知識を身に付けている。 ・現代社会の課題について異なる立場から意見が対立していることを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査
		国際社会の政治や経済の諸課題	○	○	○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現　c:資料活用の技能　d:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。